

授業科目名 (ナンバリングコード)	教職実践演習(中・高) (152C0-2301)		授業形態	演習	授業科目区分	教職科目 (専門)		
担当教員名	教職教育等小委員会・濱田 幸二・森 克己・浜田 幸史・松村 勲・竹中 健太郎・中本 浩揮 ・山本 一生・坂中 美郷・小森 大輔・梶 ちか子・栗山 靖弘・青木 竜			補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	4年次	受け入れ人数	150		
授業の概要	本授業は、教職に関する科目及び教科に関する科目の「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものであり、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科・保育内容等の指導力に関する事項の4事項についてのディスカッション等を通して、教職生活をより円滑にスタートできるようにするための内容を取り上げる。 なお、原則として2限～4限で連続して開講し、20～25人の小クラスを基本として展開する。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	事業運営力、指導者基礎力、専門的な知識・ 教養	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科・保育内容等の指導力に関する事項の4つのテーマについて理解することができる。 各課題についての自身の考えをまとめることができる。			○			60
■情意的領域	教員としての諸課題に課題意識を持ち、その解決に向けての各テーマに取り組むことができる。 設定されたテーマのディスカッションに積極的に参加することができる。	○					20	
■技能的領域	設定されたテーマに対して、自身の意見について発表やプレゼンテーションをすることができる。				○		20	
成績評価の基準	3分の2以上の出席を原則とし、授業への積極的な準備や参加度、各テーマのレポートから総合的に評価します。							
テキスト、教材 参考書	テキストは、「教職実践演習手引き」を用いる。(大学より配付)							
履修条件・ 関連科目	教育実習を履修した者、または履修年度において教育実習を履修予定の者		備考(教員メッセージ含む)	教員免許状を取得するための必修科目である。				
オフィス・アワー	森(克):水曜日の午後、木曜日の午後(508教員室)、浜田:随時対応可(608教員室) 濱田(幸):随時対応可(805教員室)、中本:随時対応可(707教員室)、梶:随時対応可(703教員室)、栗山:随時対応可(605教員室)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	教職教育等小委員会 濱田 幸二 森 克己 浜田 幸史	全体オリエンテーション			テキストの予習(30分以上)			
2	教職教育等小委員会 濱田 幸二	使命感や責任感等に関する事項			テキストの予習(30分以上)			
3	〃	〃 課題検討			テキストの予習・復習(30分以上)			
4	〃	〃 課題検討			テキストの予習・復習(30分以上)			
5	教職教育等小委員会 濱田 幸史	教科の指導力に関する事項			テキストの予習(30分以上)			
6	〃	1 〃 授業ビデオ討論			テキストの予習・復習(30分以上)			
7	〃	〃 授業ビデオ討論			テキストの予習・復習(30分以上)			
8	教職教育等小委員会 森 克己	生徒理解や学級経営等に関する事項:子どもの人権保障の観点から			テキストの予習(30分以上)			
9	〃	〃 ロールプレイ			テキストの予習・復習(30分以上)			
10	〃	〃 ロールプレイ			テキストの予習・復習(30分以上)			
11	教職教育等小委員会 中本 浩揮	社会性や対人関係能力に関する事項			テキストの予習(30分以上)			
12	〃	〃 演習			テキストの予習・復習(30分以上)			
13	〃	〃 演習			テキストの予習・復習(30分以上)			
14	教職教育等小委員会 濱田 幸二 森 克己	まとめ			テキストの予習・復習(30分以上)			
15	〃	まとめ			テキストの予習・復習(30分以上)			